

5 S活動の取り組み

病理診断科

取り組み内容(業務の5S)

1.前立腺生検 検体の検体取り違え防止

2.他科・院外への書類提出

標本貸出の一元管理

取り組み内容(業務の5S)

1.前立腺生検 検体の検体取り違い防止

[REDACTED]



時

☐ 不明

HCV抗体

1

G. S. 等

既往生檢

殘臟器

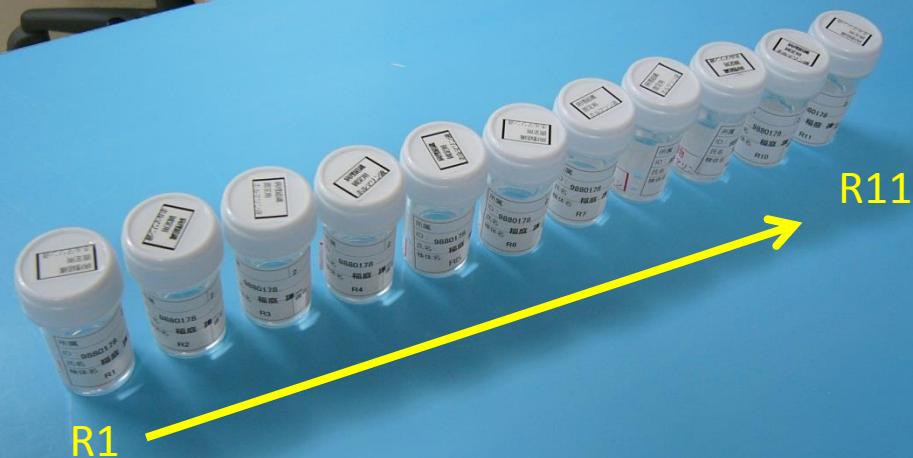
竹田綜合病院 病理診断科

左11個



前立腺生検 左右

1患者 22個



右11個

提案1

- ①ホルマリン容器購入時の
仕切り箱、厚手の蓋を再利用



提案2

- ②箱に番号を振ると共に
箱を色分けし、入れる順番
(L1→)を明確に区別した



R9

R10

R11

R4

R5

R6

R7

R8

L11

R1

R2

R3

L6

L7

L8

L9

L10

L1

L2

L3

L4

L5



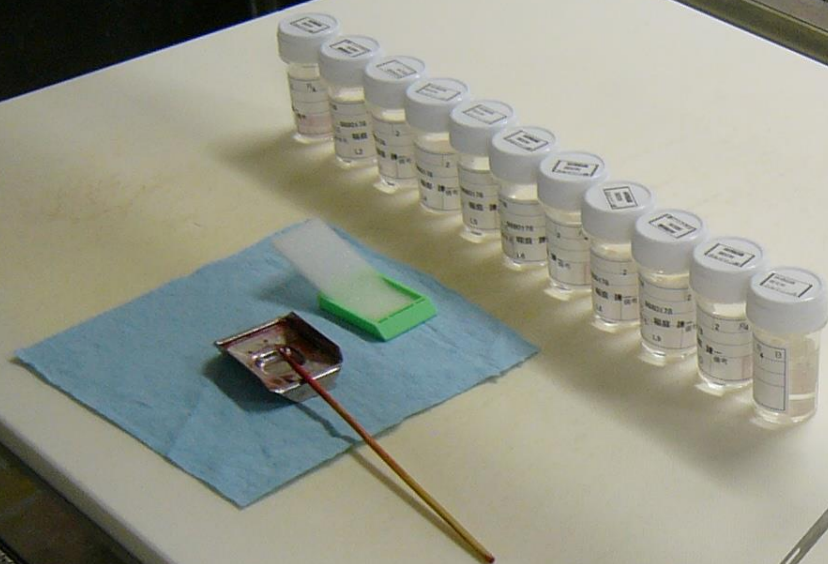
H28.12月14日、前立腺生検9件 計198個
その他の検体を含めると 218個の検体

前立腺生検検体は、患者ごとに区別され状態



前立腺生検以外のその他の検体は別容器に収納された

番号・色分けされた箱から患者ごとの検体を
検査依頼書と照合しながら検体を取り出し検査を進める



検査依頼書

患者氏名: 山田太郎 性別: 男 年齢: 45歳

検査項目: 尿検査 (尿糖、尿蛋白、尿潜血、尿pH、尿比重)

検査結果: 尿糖: 陰性 尿蛋白: 陰性 尿潜血: 陰性 尿pH: 6.5 尿比重: 1.020

医師: 山田太郎 検査日: 2023年10月10日

検査場所: 山田太郎クリニック

多数の前立腺生検 検体を患者ごとに個別化することで

- ・1患者検体ごとの確認が明確になった。(安全な検体確認)
- ・検体確認時間(左11個、右11個)の短縮。(効率化)
- ・検体取り違い防止が出来た。(品質の保証)。

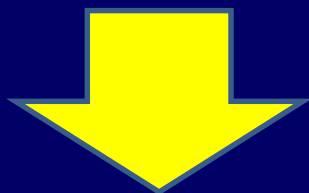
取り組み内容(業務の5S)

2.他科・院外への書類提出

標本貸出の一元管理

- ・病理診断科では、外部（他科、院外）へ日々、病理結果報告書および病理検査標本が提出される。
- ・これまでは、他科からの電話指示で必要な依頼内容をスタッフが独自にメモに書き留め作業を進めて来た。そのため時々、スタッフ間の伝達不足などで二重作業も発生していた。

改善



- ・今回、作業の効率化、業務の標準化（統一化）を目的に他科からの依頼内容は、依頼リスト用紙を基に業務作業を実施した。

また、PCエクセルを利用して依頼項目ごとに仕分けし業務内容を把握、一元管理し上司の検閲後に外部に提出した。

他科からの依頼内容リスト用紙

- ・いつ
- ・どこから
- ・患者名、標本番号

依頼リスト

日付

依頼元

標本番号

ID

患者名

提出先

出来上がったら内線_____に TEL

☐ 報告書

☐ HE

☐ 未染____枚

☐ ALK

☐ EGFR

☐ EGFR コバス v2

☐ RAS

担当者_____

- ・何を
- ・準備が出来たら
どこに連絡

- ・受け取り担当者

病理結果報告書リスト

B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
	月日	標本番号	ID	名前	報告書	画像	提出先	貸出担当者	課長確認
120	12月2日	C27-4839			○		クリニック呼吸器外→南東北病院	二瓶	12月2日遠藤
121	12月3日	T28-4277			○	○	婦人科	佐藤	12月3日遠藤
122	12月12日	T28-4379			○		クリニック耳鼻科	二瓶	12月12日遠藤
123	12月14日	T28-4069			○	○	医療秘書(産婦人科)	甲賀	12月14日遠藤
124	12月16日	T28-4125			○	○	医療秘書(外科)	甲賀	12月16日遠藤
125	12月20日	T28-4498			○	○	医療秘書(産婦人科)	小滝	12月20日遠藤
126	12月27日	T28-4398			○	○	医療秘書(外科)	佐藤	12月27日遠藤
1	H29.1月5日	T27-3489			○	○	クリニック呼吸器外→高田厚生病院	二瓶	1月5日遠藤
2	1月10日	T28-4444			○	○	婦人科外来	桂澤	1月10日遠藤
3	1月10日	T28-4157			○		婦人科外来	桂澤	1月10日遠藤
4	1月10日	C28-7006			○		婦人科外来	桂澤	1月10日遠藤
5	1月11日	T29-9			○	○	医療秘書(外科)	二瓶	1月11日遠藤
6	1月12日	T6-2774			○		外科外来(岡崎先生)	桂澤	1月12日二瓶
7	1月18日	C28-3255			○		クリニック呼吸器外科	二瓶	1月18日遠藤
8	1月19日	C29-53			○		婦人科外来	二瓶	1月19日遠藤
9	1月21日	T28-4447			○	○	医療秘書(外科)	甲賀	1月21日遠藤
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									

皮膚科標本 外科報告書 標本貸出 未染標本 保健衛生協会 群岡診療所 報告書

・保健衛生協会 ・群岡診療所 ・報告書

標本貸出リスト

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
	貸出月	標本番	ID	名前	標本種類・枚数	報告	画	貸出先	出担	課長確認	返却日
5	8月2日	C28-4124			pap2枚	○		クリニック呼吸器科→会津医療センター	小滝	8月2日遠藤	9月6日
6	8月2日	C28-4127			pap1枚、PAS1枚、ギムザ1枚	○		クリニック呼吸器科→会津医療センター	小滝	8月2日遠藤	9月6日
7	8月23日	T28-205			HE1、免染6枚	○		外科・竹村先生→亀田総合病院	二瓶	8月23日遠藤	10月14日
8	8月23日	C28-328			pap2枚、ギムザ1枚	○		外科・竹村先生→亀田総合病院	二瓶	8月23日遠藤	10月14日
9	8月24日	C28-2741			Pap3枚、ギムザ2枚	○		クリニック耳鼻科→福島県立医科大学	甲賀	8月24日遠藤	10月21日
10	8月30日	T27-2485			HE13枚、特染3枚、免染6枚	○	○	婦人科・金先生→癌研	佐藤	8月30日遠藤	9月5日
11	8月30日	C27-3895			なし	○		婦人科・金先生→癌研	佐藤	8月30日遠藤	
12	8月31日	T28-2986			HE2枚、免染13枚	○		クリニック皮膚科	桂澤	8月31日小滝	8月31日
13	8月31日	C28-4810			Pap3枚、ギムザ2枚	○		外科・岡崎先生→福島県立医大	甲賀	8月31日二瓶	
14	9月1日	T28-3149			HE1枚	○		クリニック耳鼻科→癌研	小滝	9月1日遠藤	9月13日
15	9月5日	T28-3167			HE1枚	○		クリニック耳鼻科→南東北	佐藤	9月5日遠藤	9月13日
16	9月5日	C26-5926			Pap6枚、ギムザ3枚	○		クリニック耳鼻科→会津中央病院	二瓶	9月5日遠藤	9月9日
17	9月5日	C26-6083			①と③の標本(Pap5枚、ギムザ3枚)	○		クリニック耳鼻科→会津中央病院	二瓶	9月5日遠藤	9月9日
18	9月8日	T28-49			HE12枚	○	○	総務課→保協	桂澤	9月8日遠藤	12月28日
19	9月9日	T28-2705			HE22枚	○		泌尿器科外来→癌研有明	二瓶	9月9日遠藤	10月7日
20	9月15日	T28-3088			HE1枚、免染4枚	○		外科外来→福島県立医科大学	甲賀	9月15日遠藤	10月4日
21	9月21日	T27-3108			HE11枚	○		クリニック耳鼻科→伊藤病院	二瓶	9月21日遠藤	
22	9月21日	T28-3313			HE1枚、免染4枚	○		外科外来→紹介(検討中)	二瓶	9月21日遠藤	11月4日
23	10月6日	T28-3470			HE2枚			クリニック皮膚科	二瓶	10月6日遠藤	10月7日
24	10月24日	T22-3851			HE1枚	○		クリニック耳鼻科(北條先生)→福島医大	小滝	10月24日遠藤	12月12日
25	10月24日	T28-3198			HE1枚	○		クリニック耳鼻科(北條先生)→福島医大	小滝	10月24日遠藤	12月12日
26	10月24日	T28-3404			HE3枚、免染14枚	○		クリニック耳鼻科(北條先生)→福島医大	小滝	10月24日遠藤	12月12日
27	10月24日	T28-3467			HE2枚、免染5枚	○		クリニック耳鼻科(北條先生)→福島医大	小滝	10月24日遠藤	12月12日
28	11月21日	T28-4095			HE1枚、免染11枚、未染20	○		クリニック耳鼻科(北條先生)→癌研	二瓶	11月21日遠藤	12月22日
29	12月27日	T28-4580-1			HE2枚、免染7枚、特染8枚計17	○		消化器科(Dr若林)→会津医療センター	二瓶	12月27日小滝	
30	H29.										
31	1月20日	T29-128-			HE1枚、免疫11枚			小児科→福島医大	小滝	1月20日遠藤	
32											
33											
34											
35											

他科・院外への書類提出・標本貸出の 一元管理することで

- ・統一された依頼リストを基に業務が遂行できた（業務の標準化）
- ・一元管理することで重複作成や提出漏れが無くなった（効率化）
- ・標本の貸し出し先、返却日、未返却が明確になった（標本の管理）
- ・課長の検閲により内容に関する不備が無くなった
（結果報告に関する精度保証）

病理診断科の5S活動内容

日々の業務内容 改善点は？

課長やスタッフによる固定外捻に捉われない斬新な発想

発想を上手く取り入れたスタッフの繊細な手づくり品

物の5S、物の5Sを活用した業務の5Sが誕生

安全な
病理検査

品質が保証された
病理検査

作業効率の良い
職場作り
(ハード面、ソフト面)

物の5S(整理整頓)

箱を処分せずに
ホルマリン固定容器入れとして
再利用



使用目的ごとに
ホルマリン固定容器を
大きさごとに仕分けして収納



物の5S(整理整頓)



業務の5S

(マニュアルの見える化)

他院標本の受付方法

① 診断のみにチェック

② チェックを外す

③ 他院標本診断にチェック

④ 外来に標本を返却した

切り出し画面は、ブロック個数(標本枚数)のみを入力する。
空力セッにて、「組織標本番号」と「他院標本」を記入し収納する。
空標本札に、標本ラベルを貼付し、空所に「他院標本」と記載する。
組織診依頼書に、下記の判子を押印する。
本返却時に、返却日と著明欄に標本受け取り者のサインを頂く。

群岡診療所の受付方法

① 院外にチェック ② 顔にMを付けてから ③ 群岡IDを入力 ④ 半角英数で姓からか ⑤ 生年月日を入力

⑥ 採取日を入力 ⑦ 竹田総合病院を選択 ⑧ 群岡診療所を選択 ⑨ 依頼医を選択 ⑩ 臓器名、採取法を選択 ⑪ チェックを外す ⑫ 臓器数を手入力

業務マニュアル

事務作業の見える化

① 院外にチェック ② 顔にMを付けてから ③ 群岡IDを入力 ④ 半角英数で姓からか ⑤ 生年月日を入力

⑥ 採取日を入力 ⑦ 竹田総合病院を選択 ⑧ 群岡診療所を選択 ⑨ 依頼医を選択 ⑩ 臓器名、採取法を選択 ⑪ チェックを外す ⑫ 臓器数を手入力

受付終了後、「番号印刷・登録」を選択すると、医事課請求用紙を印刷するかを聞いているので、印刷を行う。
医事課請求用紙は、IF医事課に提出する。

業務の5S (マニュアルの見える化)

細胞診業務掲示板

細胞診業務の運用表		
項目	検査項目	検査方法
1. 検体採取	検体採取	検体採取
2. 検体処理	検体処理	検体処理
3. 検体観察	検体観察	検体観察
4. 検体保存	検体保存	検体保存
5. 検体廃棄	検体廃棄	検体廃棄

感染予防 - 基本は手洗い/手指消毒です-

【手洗いの手順】



手指消毒剤 手の消毒方法

ALKおよびFIF遺伝子検査の検体調製法

【検体採取】

検体採取は、検体採取器を用いて検体採取を行います。検体採取器は、検体採取器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体処理】

検体処理は、検体処理器を用いて検体処理を行います。検体処理器は、検体処理器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体観察】

検体観察は、検体観察器を用いて検体観察を行います。検体観察器は、検体観察器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体保存】

検体保存は、検体保存器を用いて検体保存を行います。検体保存器は、検体保存器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体廃棄】

検体廃棄は、検体廃棄器を用いて検体廃棄を行います。検体廃棄器は、検体廃棄器の取扱説明書に従って使用してください。

TACS遠位化検体の作製方法

【検体採取】

検体採取は、検体採取器を用いて検体採取を行います。検体採取器は、検体採取器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体処理】

検体処理は、検体処理器を用いて検体処理を行います。検体処理器は、検体処理器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体観察】

検体観察は、検体観察器を用いて検体観察を行います。検体観察器は、検体観察器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体保存】

検体保存は、検体保存器を用いて検体保存を行います。検体保存器は、検体保存器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体廃棄】

検体廃棄は、検体廃棄器を用いて検体廃棄を行います。検体廃棄器は、検体廃棄器の取扱説明書に従って使用してください。

セルブロックの作製方法

【検体採取】

検体採取は、検体採取器を用いて検体採取を行います。検体採取器は、検体採取器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体処理】

検体処理は、検体処理器を用いて検体処理を行います。検体処理器は、検体処理器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体観察】

検体観察は、検体観察器を用いて検体観察を行います。検体観察器は、検体観察器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体保存】

検体保存は、検体保存器を用いて検体保存を行います。検体保存器は、検体保存器の取扱説明書に従って使用してください。

【検体廃棄】

検体廃棄は、検体廃棄器を用いて検体廃棄を行います。検体廃棄器は、検体廃棄器の取扱説明書に従って使用してください。

業務マニュアル
細胞診検査業務手順の見える化

参考になれば幸いです！！